

Sky Seminar



写真は岡田克彦教授

世界初、アルゴリズムで 市場心理を読みながら投資する ヘッジファンドを創設

株価を決める要因は何でしょうか？業績、経営者の質、金利や為替等のマクロ経済要因、業界の競争環境、いろいろ考えられますが、人間の「心理」が決められている部分が、実はかなり大きいのです。従来のファイナンス理論では、心理、ムードといったものは、ランダムに発生し予測不可能だからノイズとして無視して良い、という立場をとっています。しかし、私の専門である「行動ファイナンス」の研究が進むにしたがって、心理的バイアスは長期間継続することがあり、それが時にはバブルの生成につながることも等が明らかになってきました。

「ところが、研究レベルでは「投資家心理」が株価を決める重要なファクターであることがわかってきたものの、それをどうやって数値化するかという大きな問題が残っています。この問題を解決しない限り、行動ファイナンスを本当の意味で実務に応用することは難しいといえるでしょう。そこで、2011年春、この壁を乗り越えるために、ファイナンス研究者である私と、情報工学を専門とする羽室准教授はタッグを組み、ERATO 湊離散構造処理系プロジェクトの研究成果を応用しながら「投資家心理の数値化プロジェクト」を開始しました。

資本市場には大量の情報が流れていますが、そのほとんどは、テキスト情報（文字情報）であり、ありとあらゆるテキスト情報はウェブを通じて、また情報ベンダーを通じて入手可能です。これをテキストマイニングという手法を活用して解析することに、事実情報以外にどういった感情がテキストに反映されているかを抽出することが可能になります。この技術は、自然言語処理と呼ばれる研究分野で開発され、日本語の文法構造の複雑さゆえ、日本は世界で最も進んだ技術を持っているといわれています。また、大量のデータ処理を必要としますので、コンピューターの性能向上が著しくなったここ数年でようやく実用化され、注目される様になりました。

私たちは、投資家心理の数値化プロジェクトにおいて、マーケットに流れるほぼ全てのニュース、アナリストコメント、専門家の意見を含む記事数百万件を分析し、相場の雰囲気や数値として算出することに成功しました。更に、驚いたことに、数値化された投資家心理情報を利用してポートフォリオを組成すれば、継続的に10年間年率20%を超える高リターンが達成されることがわかりました。この成果を資産運用に活かすべく、2011年6月に共同でMagne-Max Capital Managementという会社を立ち上げ、行動ファイナンス理論と自然言語処理技術を融合したユニークなヘッジファンドを創設しました。研究ベースでも緒に付いたばかりのものを、一気に実務にまで落とし込もうというわけです。おそらく、この発想に基づくヘッジファンドは世界初だと思います。

岡田克彦

関西学院大学大学院
経営戦略研究科教授

おたかつひ

フロンティア大学 M.B.A. 神戸大学大学院経営学
学術研究博士課程修了、博士(経営学)、モル
ガンスタンレー証券トレーダー、UBS証券
株式商品部 E.p. Halberdier
Capital Management
Superiore 取締役/フットネ
ジャーを経て、現職。Magne-Max
Capital Management
CEO/CIO 兼務。

羽室行信

関西学院大学大学院
経営戦略研究科准教授

はむろゆきのぶ

神戸商科大学大学院博士後期課程単位
取得満期退学、大阪産業大学経営学部助
教授を経て現職。Magne-Max
Capital Management COO
兼務。湊離散構造処理系プロジェクト共同研
究者。理論と実装の両方に長け、データマイ
ニング/コンテキスト等、受賞歴、論文、画期的ソフト
開発の実績多数。

世界市民を育む、学びがある。



関西学院大学

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号
TEL:0798-54-6017 URL:http://www.kwansei.ac.jp/

125
関西学院
1889-2014

関西学院は、2014年に創立125周年を迎えます。